

Power Pointとは

- MS社が販売する、プレゼンテーション用ソフト。
- 人前で何かを口頭で説明するときに併用する。授業、卒論発表、その後社会にでてからと、使用頻度は多い。
- 簡単な図形描画のソフトとしても使用可能。専用のグラフィックソフトに比べるともちろん操作性や機能は劣るが、簡単なチラシやポスターであれば手軽に作成できる。

1

Power Pointとは

- スライドを順々に呈示していく。
- 図や表が挿入できるほか、それらのアニメーションや、動画の表示もできる。

2

Power Point 2013の画面

3

Power Pointの画面

- 適当な文章を入力してください。

4

新しいスライドの挿入

新しいスライドを一枚作って下さい

5

スライドショーの開始

スライドショーを開始を試して下さい

6

文字・段落のレイアウト



Word、Excelと同様に操作できる

スライド全体のレイアウト

- 「レイアウト」で色々変えてみる。
- 使い慣れてくると、白紙に自分でレイアウトを決めていくほうがやりやすい



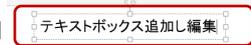
スライドのレイアウト

1. 「ホーム」→「図形描画」からテキストボックスを追加
2. ボックス内に書き込む



または

1. 「挿入」→「図形」から追加
2. 追加した図形内にも書き込める



スライドのデザイン

- このように背景を変えることができる
- 「デザイン」→「テーマ」から選べる。
- 全体に適用するか、そのスライドにだけ適用するかを、右クリックから選ぶ。

練習

このスライドと同じものを作成してみてください。



この図は自分で作成する

2017年6月

アニメーション

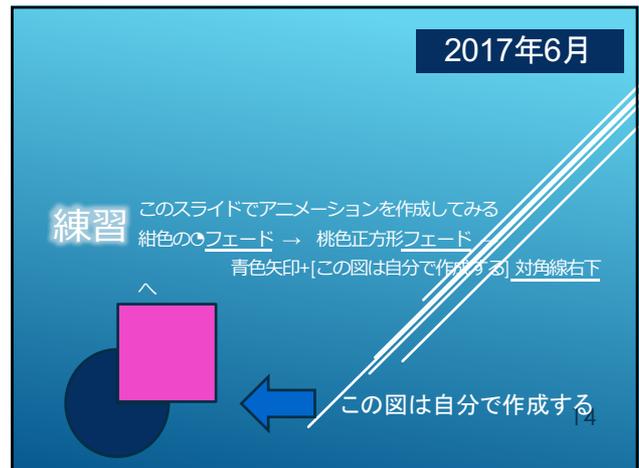
1. 「アニメーション」で細かな設定
2. 「画面切り替え」で、画面の切り替わり方や、クリック⇔自動切り替えを選べる
3. プレビューで確認する。

アニメーション

1. 「アニメーション」で細かな設定
2. 「画面切り替え」で、画面の切り替わり方や、クリック⇔自動切り替えを選べる
3. プレビューで確認する。

こんな風になります

13



動画の再生も可能

「挿入」→「ビデオ」



http://www.youtube.com/watch?v=C378LPZ_AJA

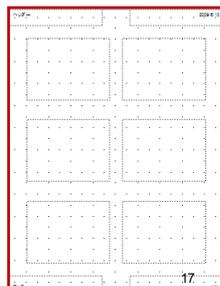
配布資料(スライデュメント)として使う

- パワーポイントを見せつつ口頭で発表を行うのが基本。
- 補助としてパワーポイントをそのまま印刷して、資料として相手に渡すことも多い。
- 1枚のA4用紙に複数のスライド。
- 大学の講義でもよく使われますよね

16

配布資料(スライデュメント)として使う

- 「表示」→「プレゼンテーションの表示」→「配布資料マスタ」
- 1ページあたりのスライド数などで見やすいように調整できる
- プレースホルダのヘッダーや日付なども適宜修正可能
- 終わったらマスタ表示を閉じる



発表時のメモ書きとして使う

- スライドの下に空白部分がある。ここにメモ書きなどを書くことができる。
- 空白部分の表示の大きさは、枠にカーソルを合わせて変更できる。
- 「表示」→「ノートマスタ」で調整し、メモ書きを印刷して発表時に持っておくことも可能。

18

強調しすぎに注意

- **あまりにカラー**を多く使用すると、かえって**見づらく**なるし、**要点がつかめない**。
- **たいした情報でもないのに**アニメーションを派手にすると、**安っぽく見える**。
 - ◆ スライドショー再生で確認してみよう→

予定日の天気は**晴れ**



最低限の色使いやアニメーションに控えましょう。盛りすぎ注意。¹⁹